

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度 病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、発生予察注意報第3号(大豆・野菜類のハスモンヨトウ)を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第3号

1 農作物名 大豆, 野菜類(イチゴ, 根深ネギ, オクラ, キャベツ, サヤインゲン等)

2 病害虫名 ハスモンヨトウ

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多

4 注意報発令の根拠

(1) 8月中~下旬の巡回調査での発生ほ場率は、根深ネギで89%(平成20年35%), サトイモで100%(平成20年82%)と平成20年より高く、オクラ, 大豆では多~中発生ほ場も認められた(表1, 図1)。

(2) 県内各地のフェロモントラップは8月に入り増加傾向にある(図2)。

(3) 向こう1か月の天候は平成20年と同様に晴れの日が多く、気温は高いと予報されており、今後も発生しやすい状況が続く。

(4) 今後作付けされるサヤインゲン等の豆類でも被害が予想される。

5 防除上注意すべき事項

(1) 若齢幼虫は集団で表皮を残して食害し、白変葉を生じるので、これを目安に防除する。特に生育初期のメメ類は被害が大きいため初期防除に努める。

(2) 防除は薬剤の効果が高い若齢幼虫期に行う。

(3) 卵塊や分散前の若齢幼虫を発見したら、速やかに寄生葉を摘み取り処分する。

(4) 施設栽培では、開口部を防虫ネットで被覆し、成虫の侵入を防ぐ。成虫はネット上などにも産卵し、ネットの編み目からふ化幼虫が施設内に侵入するので注意する。

(5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤とのローテーション散布に努める。

表1 ハスモンヨトウの発生ほ場率 (%)

作物名	本年	前年	平成
根深ネギ	89	28	35
サトイモ	100	79	82
オクラ	50	70	63
イチゴ	53	47	-
大豆	75	92	96

8月中~下旬調査

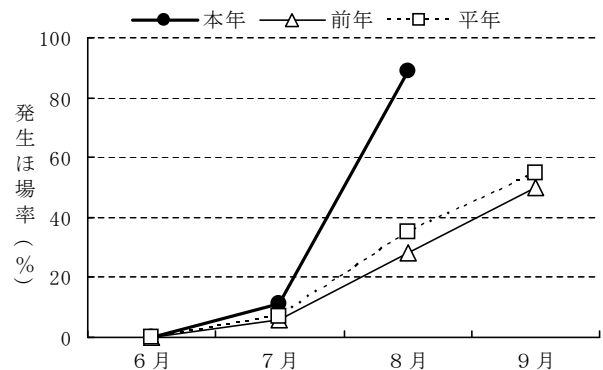


図1 ハスモンヨトウの発生推移 (根深ネギ)

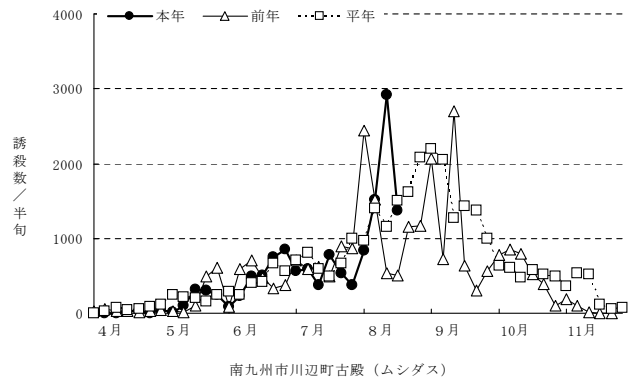
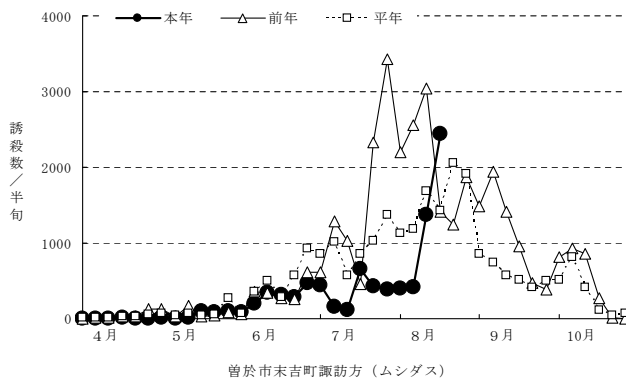
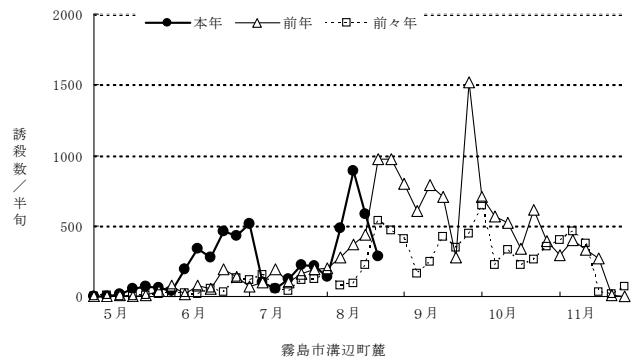
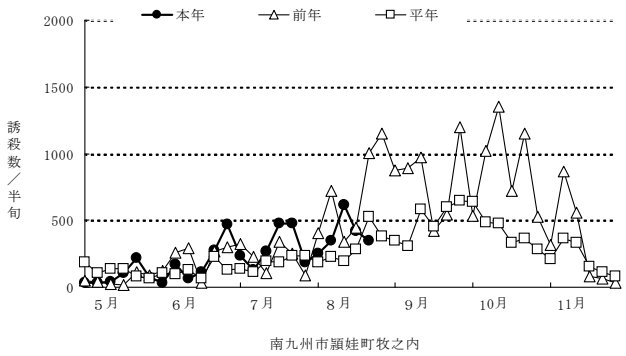
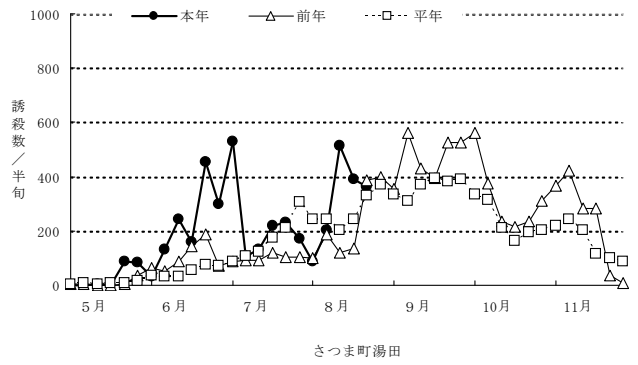
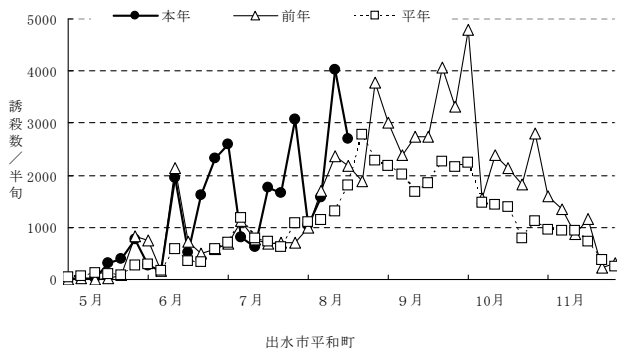
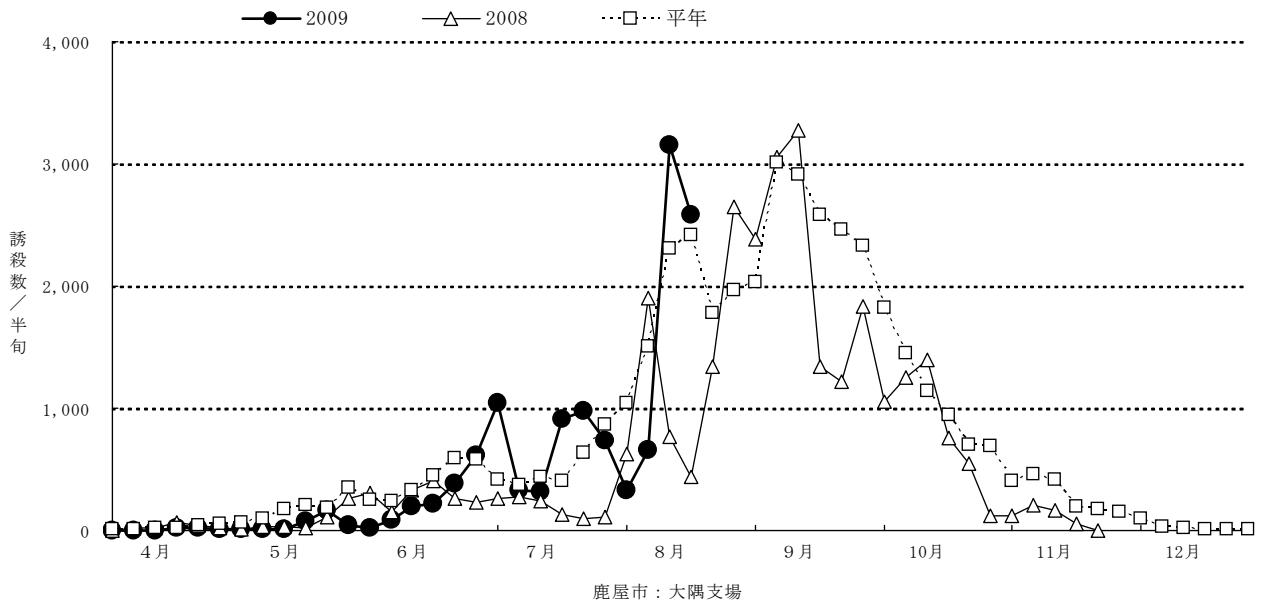


図2 フェロモントラップによる誘殺状況（県内各地：8月第4半旬迄）